

シェラトンホテル開業による集客機会

2023年、旧交通局跡地にシェラトンホテルが開業予定となっている。シェラトンホテルといえば、世界的に多くのメンバーを抱えるマリオットグループのホテルであるが、アメックスなどのクレジットカード付帯サービスとして、無料宿泊やマリオットゴールド会員資格付与などもあり、国内外から非常にたくさんの観光客を集客できるチャンスであると考えられる。



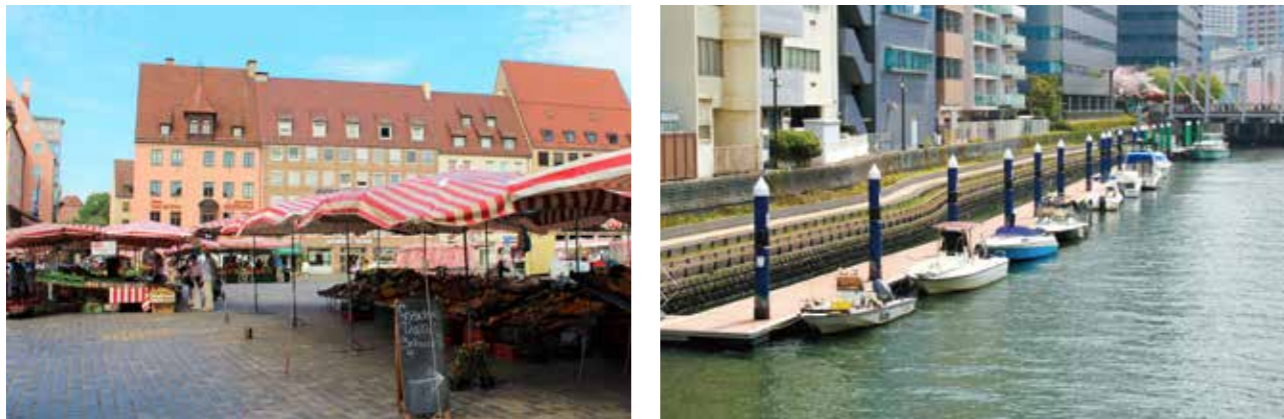
ただ、ホテルありきで宿泊に来た方は一度目に魅力を感じなかった場合、二度と再訪することはないとも考えられ、立地周辺の魅力を高める施策が急務で必須であると考えた。そこで、具体的には下記のような事業を自治体及び事業者並びにその事業団体が連携して行うことを提言する。

提言の本旨

本来であれば、同様な事業を行っている国内の成功事例等を視察し、ヒアリング等から具体的な目標値等を示したいところであったが、コロナ禍による活動制限もあり叶わなかったため、あくまでも仮定としての提案とする。

①散歩コースとして甲突川沿いの遊歩道や河川を整備する

鹿児島中央駅からシェラトンホテルまでの甲突川沿いを、散歩だけでなくさまざまな「体験」を提供できる一帯として整備。具体例として、マルシェなど常設的な企画エリアを設置、栈橋などアクティビティ用の提供スペースを設置など、主に事業者の参入を促すような施設の整備を想定する。



②セグウェイや電動キックボード、電動車いすなどのアクティビティ、移動手段を整備する

セグウェイや電動キックボード、カヌー、屋台船、渡し船などのアクティビティを用意することにより観光の魅力を底上げし、この一帯を新たな観光地として打ち出していきたいと考えるものである。もともとこの地域は近くに

維新ふるさと館もあり、歴史的なコンテンツを有するところに、体験ができるアクティビティ等を整備することで若い方・家族連れへの訴求力の向上が期待できると考える。



③人流に合わせて移動販売事業者やキッチンカー事業者と連携し、観光地の一部区画を販売スペースとして提供。キッチンカーや移動販売(屋台)による土産店等の出店を促す。

鹿児島市の観光地について考えるとき、文化や歴史的なものが多く、それらをセールスポイントにした観光誘致は、教育的で固く、比較的高齢者向けというイメージを払拭できない。そこで、若い方や家族での来訪につながるため、移動販売事業者やキッチンカーによる飲食・物販を組み合わせることで、観光地に賑わいを創出し、観光地の満足度を向上しようとするものである。

飲食・物販を移動販売としたのは、スペースの利活用及び季節などによる来訪ニーズへの対応、固定店舗を置かないことにより出店事業者の参入のハードルを下げることを考慮した。



11月例会事業内において下鶴隆央鹿児島市長よりご回答いただいた、移動販売事業者等の協会へのアプローチについては、次年度以降に引き続き行っていきたいと考える。